

## 大阪の方へ | ゲストハウスの需要や空き家をゲストハウスとして活用するポイントを紹介

「空き家には使わないスペースがあるのだから、せっかくなら有効に活用できないのだろうか」  
「空き家を相続したけど、定期的なメンテナンス費用が負担になってきた」  
大阪にお住まいでこのようにお悩みの方がいらっしゃるのではないのでしょうか。  
そのようなお悩みを解決するには、空き家をゲストハウスとして活用することがおすすめです。  
それでは、今回はゲストハウスとしての空き家の活用について詳しくご紹介します。

### そもそもゲストハウスとは

ゲストハウスとは比較的安価な料金で利用できる客人向けの住宅のことを言います。  
世界の旅行者の間では、バックパッカーの利用などに主眼を置いた安価な宿泊施設を指して使われることが多いです。  
ゲストハウスと民泊施設の違いについて気になる方は多いと思いますが、ゲストハウスと民泊施設には大して違いはありません。  
強いて言えば、ドミトリーを備えているか否かという部分が違いとして挙げられる傾向にあります。  
ドミトリーとは基本的に複数人が同じ部屋へ同時に泊まれる2段ベッドの置かれた格安宿泊施設のことを指し、簡単に言えば相部屋のことです。  
ゲストハウスにはこのドミトリーを持つものが多く、民泊施設の場合、1部屋を1組に貸すという方法を取ることが多いです。

### 最近のゲストハウスの傾向と需要

最近のゲストハウスの多くは空き家や古民家をリフォームしたものが多く、どこのゲストハウスも個性豊かです。  
また、リフォーム段階から地域コミュニティが関わり、最初は遠巻きに見ていた近隣住民の方も徐々に手伝いに加わっていくことで、完成後も地域のコミュニティスペースとしてそのゲストハウスが利用されるケースが多いことが特徴です。  
さらに、最近だとゲストハウスを拠点として旅人の多くが観光地巡りを楽しむというよりもゲストハウスの滞在自体を旅の目的として、周辺のカフェや書店、パン屋などに訪れ、そこにある日常を楽しむことも流行ってきています。  
このようにゲストハウスへの注目は以前よりも高まってきており、需要が増加していると考えられます。

### ゲストハウスとして活用するメリットやポイント

民泊施設と同様にゲストハウスのメリットとしては、収益が見込めることでしょう。  
固定資産税やメンテナンス費用、保険料といった空き家には多くの費用がかかりますよね。

ゲストハウスの需要は高まってきていることから、これらの費用を十分に賄えるだけの収益を得られる可能性は高いと考えられます。

また、ポイントとしては、こちらも民泊施設と同様にターゲットとなる客層を定めてから、空き家をリフォーム・リノベーションしていくことが挙げられるでしょう。

## まとめ

以上、ゲストハウスとしての空き家の活用についてご紹介しました。

もしあなたが空き家を有効に活用したいなら、ぜひゲストハウスへの活用を考えてみてはいかがでしょうか。

また、当社は全国でも少ない空き家のリフォームを専門とするプロフェッショナル集団です。全国古家再生推進協議会の第1号の認定工務店であり、協議会の中もNo.1の空き家のリフォーム実績を持つ会社です。

さらに空き家の利用方法について詳しく知りたい方がいれば、当社へお気軽にお問い合わせください。